＜なす（露地栽培）＞

・「おおさかアグリメール」で配信している、年間の主な作業を掲載しています。（気候条件等で前後することがあります。生育状況に応じて管理してください。）
・病害虫の発生は栽培ほ場の状況を良く観察し、毎月の病害虫発生情報は　http://www.jppn.ne.jp/osaka/index.html　を参照してください。
・防除薬剤は『大阪府農作物病害虫防除指針http://www.jppn.ne.jp/osaka/shishin/body/mokuji.html 』を参照してください。

月	1月			2月			3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
露地										定植 トンネル被覆			栽培管理	整枝	ホルモン剤処理	収穫	病害虫防除		かん水	更新せん定	追肥	整枝・せん定	追肥	病害虫防除											
管理作業										【定植】 ▼購入苗を利用する場合、徒長苗は避け下葉までしっかり葉がついた苗を選びましょう。 ▼うね幅は180cm程度にし、植え付け直前に十分かん水し、トンネル被覆をするなど地温を上げておきます。 ▼植え付けの際、接ぎ木部分が土に接しないよう浅植えとします。 ▼アブラムシ類やアザミウマ類等防除のため、粒剤を施用しましょう。 【トンネル被覆】 ▼植え付け後はトンネルで覆い、保温に努めましょう。 ▼植え付けと同時に、ほ場の周辺にソルゴー等をまくと防風対策になります。			【栽培管理】 ▼天気のよい日は早朝からトンネルの換気を行いましょう。トンネル内が高温にならないように注意しましょう。 ▼トンネルは5月中旬頃、なすの茎葉がつかえるようになれば除去します。 【整枝】 ▼整枝は１、２番果の直下から出る側枝のうち、勢いの良い側枝３本を伸ばして４本仕立てにし、誘引固定します。 【ホルモン剤処理】 ▼ホルモン剤処理はできるだけ開花当日の午前中に行い、処理は梅雨明けまで続けます。			【病害虫防除】 ▼梅雨期には苦土欠乏が出やすくなるので注意しましょう。 ▼害虫ではアザミウマ類、ハダニ類、テントウムシダマシ類等、病気では灰色かび病、褐色腐敗病等の発生に注意しましょう。 ▼特に褐色腐敗病は収穫後の果実に発症し、出荷後に問題になることがあります。降雨時に収穫した果実は、乾いてから箱詰めしましょう。 ▼降雨による土の跳ね上がりや乾燥を防ぐため、うね面に敷きわらをすると病気の予防に効果的です。			【かん水】 ▼梅雨があけると、高温乾燥期に入るので十分かん水しましょう。 【更新せん定】 ▼夏は成り疲れなどで樹勢が弱るため、本格的に更新せん定を行いましょう。 ▼花のついた上の１葉を残して摘芯し、収穫後は枝の基部の１芽を残して切り戻しましょう。 【追肥】 ▼追肥は１度にまとめて行わず、草勢を見ながらこまめに分けて行いましょう。			【整枝・せん定】 ▼成り疲れ、高温や病害虫の被害等で草勢の落ちる時期です。 ▼整枝せん定をこまめに行い、受光体勢の確保と通風に努めましょう。 ▼１側枝１果取りを原則とし、収穫時に１芽を残して切り戻します。 【追肥】 ▼追肥は生育状況と収穫量に合わせてこまめに行いましょう。 【病害虫防除】 ▼病害虫では、アザミウマ類、ハダニ類、オオタバコガや、うどんこ病、褐色腐敗病等に注意しましょう。											